ギリシャ概況（2018 年 6 月号）

１．内政

・14 日　野党第一党 ND が FYROM 国名問題等に関する合意に反対し、政府不信任動議を国会に提出した。
・同日　ギリシャ国会は、対ギリシャ第３次支援プログラムの第４次審査完了の前提条件として実施を求められている事項が盛り込まれた包括法案を賛成１５４票、反対１４４票で可決した（議員２９８名が出席）。
・15 日　コンスタンディノス・バルバルシス「黄金の夜明け」議員が国会で軍にクーデター実施を求める発言をし、党から除名された。
・17 日　ギリシャ国会が政府不信任動議を賛成１２７票、反対１５３票で否決した（議員２８０名が出席）。
・同日　ディミトリス・カメノス ANEL 議員が政府不信任動議に賛成票を投じたため、党より除名され、無所属となった。
・26 日　ヨルゴス・ラザリディス ANEL 議員が離党を表明し、無所属となった。

２．外政

・4 日　２０１６年夏のトルコにおけるクーデター未遂事件に関与したとされるトルコ軍人８名のうちの残りの４名が釈放された。
・11 日　ミツォタキス ND 党首がエルサレムを訪問し、ネタニヤフ・イスラエル首相と会談した。
・12 日　チプラス首相がザエフ FYROM 首相と FYROM の新国名を「北マケドニア共和国」とすることに合意した旨の声明を発表した。
・13 日　コジアス外相が露を訪問し、ラヴロフ外相と会談した。
・14～15 日　ドンブロウスキス欧州委員会副委員長がギリシャを訪問し、チプラス首相及びツァカロトス財務相と会談した。
・15 日　レグリング ESM 総裁がギリシャを訪問し、ツァカロトス財務相と会談した。
・17 日　コジアス外相及びディミトロフ外相が FYROM 国名問題等に関する協定に署名した（於：FYROM との国境付近に位置するギリシャのプレスペス）。チプラス首相、ザエフ FYROM 首相、ニミッツ FYROM 名称問題国連事務総長特別顧問、 モゲリーニ EU 外務・安全保障政策上級代表、ハーン欧州委員近隣政策・拡大交渉担当、シェケリンスカ FYROM 副首相兼国防相、スパソフスキ FYROM 副首相兼内務相及びオスマニ FYROM 副首相欧州担当が署名式典に出席した。
・18～19 日　コヴィンド・インド大統領がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、チプラス首相、ミツォタキス ND 党首と会談した他、当地シンクタンク ELIAMEP 等にて演説を行った。

・21～22 日　ギリシャが第3回「安全保障と安定に関する南東欧・中東諸国外相会合」（於：ロドス島）を開催した。本会合には計21か国・機関の外務大臣及び高官が出席し、コロンビア、インドネシア及びベトナムがオブザーバーとして参加した。
・22 日　カメノス国防相が第2回ギリシャ・キプロス・イスラエル3カ国国防相会合（於：キプロス）に出席した。
・24 日　チプラス首相が移民・難民問題に関する EU 緊急首脳会合（於：ブリュッセル）に出席した。
・25～26 日　コジアス外相が EU 外相会合及びEU総務理事会（於：ルクセンブルク）に出席した。
・25～27 日　チプラス首相が英国を訪問し、メイ首相及びコービン労働党党首と会談した他、ロンドン・ビジネス・スクールにて演説を行った。
・27 日　ミツォタキスND党首が独を訪問し、ショルツ財務相、ゼーホーファー内務相及び議員らと会談した。
・28～29 日　チプラス首相が EU 首脳会合（於：ブリュッセル）に出席した。更に、本会合のマージンにて、ストルテンベルグ NATO 事務総長と会談した。また、メルケル独首相、サンチェス西首相と難民問題に関し協議した。

3．移民・難民問題

ギリシャへ入国する移民・難民は 4 月に比べ減少傾向にあるものの、本土及び島嶼部での移民収容施設の不足が原因で、多くの施設が超過密状態にある。
5 月 31 日現在　ギリシャに滞在する移民・難民は 58,100 名（UNHCR 発表）。

4．経済

（1）対ギリシャ第3次支援プログラム
・21 日　ユーログループ（於：ルクセンブルグ）が開催され、対ギリシャ支援プログラムに関する合意がなされた。本合意には、第3次支援プログラムの第4次審査完了を受け150億ユーロの融資を実施することや、欧州金融安定ファシリティから受けた融資の償還期限と利子の返済猶予期間の10年延長が盛り込まれている。

経済動向
・4 日　資本規制緩和（①預金者一人当たりの銀行口座からの現金引き出し限度額を1か月当たり5，000ユーロに引上げ、②個人の現金の国外持ち出し限度額を3，000ユーロに引上げ、③法人の海外商業取引で銀行取引委員会の承認を必要とせずに海外送金可能な限度額を1日当たり4万ユーロに引上げ）が実施された。
・4～8 日　当地のメトロポリタン・エキスポ・センターにて、「ポシドニア国際海事展2018」が開催され、チプラス首相、リム IMO 事務局長、ブルク欧州委員運輸担当、ヴ

ォカス・ギリシャ船主協会代表が開会式でスピーチを行った。本海事展には９２か国から２，０１１社が出展し、約２万２千人が参加した。
・25 日　スタンダード＆プアーズ社がギリシャの長期債務格付けを「B」から「B＋」に一段階引き上げるとともに、見通しを「安定的」とした。

（3） 財政

ギリシャ財務省が 6 月 25 日付で公表した 1 月から 5 月の財政統計によると、1 月から 5 月の財政収支は 8 億 1,300 万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは 15 億 2,500 万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は 184 億 2,200 万ユーロで政府目標 8 億 3,400 万ユーロ（4.7 増）上回り、歳出は 192 億 3,500 万ユーロと政府目標より 5 億 1,600 万ユーロ低く抑えられた。

（4） 輸出入

ギリシャ統計局の 6 月 7 日付の発表によると、4 月の輸入総額は 43 億 3,040 万ユーロ（前年同月比 4.4%減）、輸出総額は 25 億 8,910 万ユーロ（前年同月比 11.6%増）となった。

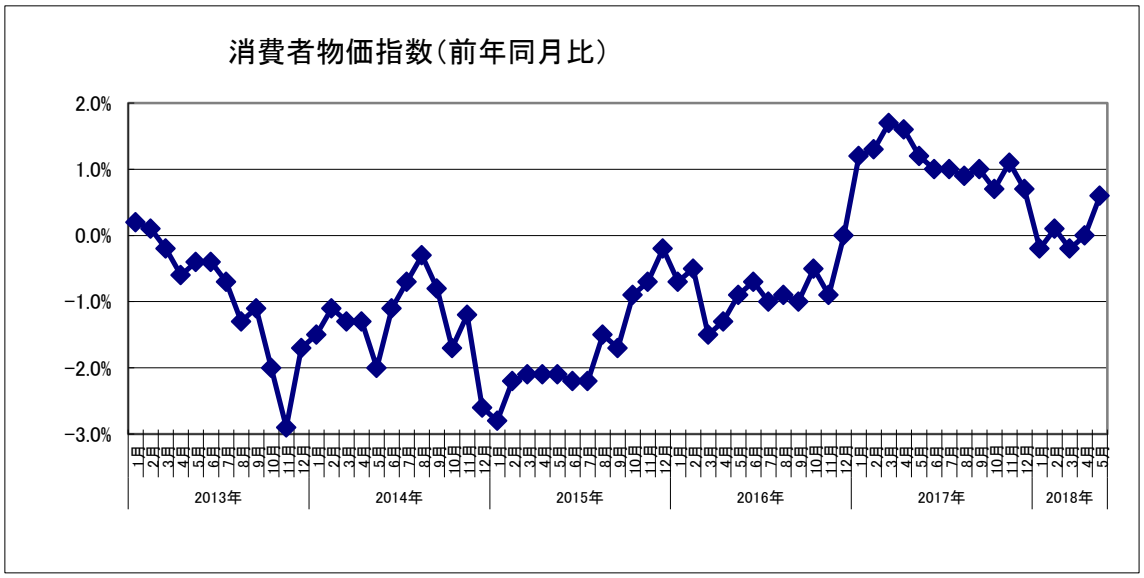
（5） 観光業

ギリシャ観光業協会（SETE）の発表によると、4 月の観光客は、105 万 7,766 人で、前年同月比 11.1%増となった（国内主要空港の観光客到着数（暫定値）ベース）。内訳は、アテネ空港が 44 万 3,432 人で（同 16.1%増）で、テサロニキ空港が 17 万 2,272 人（同 8.1%増）となった。

5. 経済指標

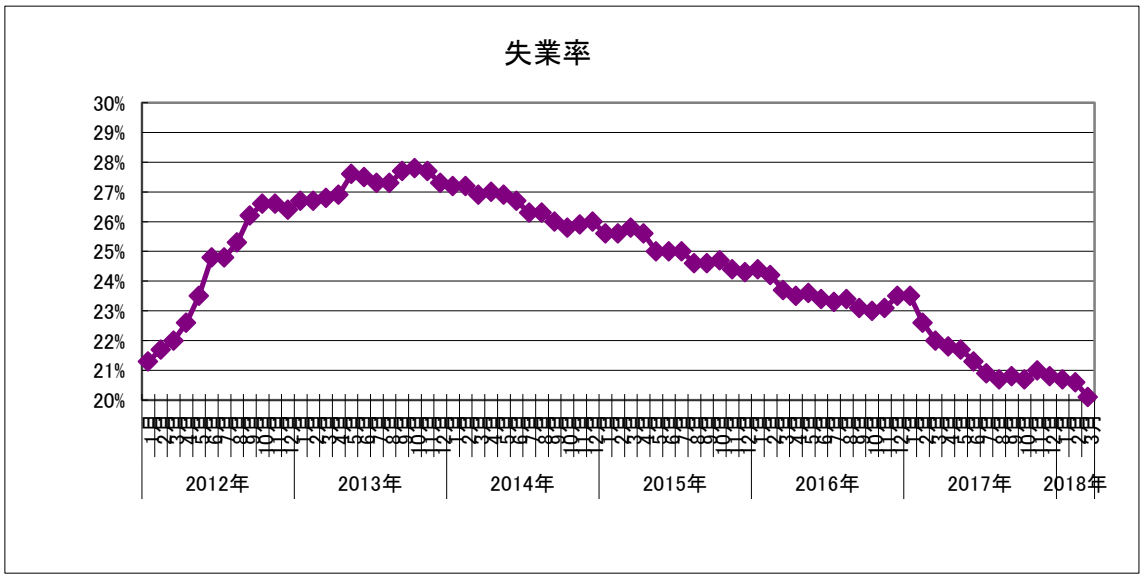
(1) 消費者物価指数

ギリシャ統計局の 6 月 8 日付の発表によると、5 月の消費者物価指数は前年同月比 0.6%増となった。



(2) 失業率

ギリシャ統計局の 6 月 7 日付の発表によると、3 月の失業率は 20.1%となり、前月から 0.5%減少した。



※2018 年 2 月の失業率は、ギリシャ概況（2018 年 5 月）公表後、ギリシャ統計局により 20.8%から 20.6%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した。

(3) GDP

OECD のデータによると、2018 年第 1 四半期（1 月～3 月）の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 2.3%となった。

出典：OECD

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

※過去のギリシャ概況情報は以下のＵＲＬを参照してください。

http://www.gr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/greece_general_reports_list.html

（了）